

学校教育目標 「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」

校訓 「自主・責任・規律・親和」 R7.12.12発行 文責 校長 本多 博

## 「人権」の大切さをみんなで学びました

12月10日（水）の5・6校時、人権集会を行い、各学年から人権学習の取り組みについての報告や感想等の発表がありました。その後、人権集会実行委員による特別発表「私はひろがる」の詩の朗読の後に、「南部中学校人権宣言」の採択が行われました。以下、採択された人権宣言の内容です。



### 令和7年度 南部中学校 人権宣言

地球上で生活している私たち人間は、それぞれ違う顔、性格です。肌の色や髪の毛の色、目の色などもそれぞれ違います。住んでいる場所や話す言葉、習慣にもそれぞれ違いがあります。人権とは、このような違いをもつ私たち人間が幸せに生きていくために必要な権利です。

しかし、今の世の中では決して人権が守られているとは言えません。なぜなら、さまざまな差別や偏見で苦しむ人々が存在しているからです。

差別や偏見が起こる原因として、『自分の人権を大切に思い守ろうとするように、他者の人権も大切と思い守ろうとすることをしないから』と考えられます。

私たちは、各学年で人権学習を深めました。

1年生は、身近なところに人権問題があることを知りました。また、ちょっとした行動や決めつけが大きな人権問題につながることを学びました。人権が尊重される世界をつくるために心遣いを大切にしていきたいです。

2年生は、ハンセン病について学習しました。患者さんがあたりまえの生活ができなくなり、差別を受けていたということを知り、今でも差別は身近にあるということに驚きました。

3年生は、同和問題について学習しました。特定の地域に住んでいることで、理由もなく差別されていて、それが今でも続いているということを学び、なくしていかなければならないと思いました。

このような学びは、人権に関する知識・人権感覚を豊かにします。そして、この積み重ねが、南部中学校の生徒全員が安心して生活できる学校作り、さらに、人間が安心して生きていける社会作りにつながっていきます。

私たちは、次のことを実践することを宣言します。

- 一、私たちは、お互いを認め合い、言葉や行動に気をつけます。
- 一、私たちは、一人ひとりの個性を尊重し、助け合います。
- 一、私たちは、何に対しても偏見をもたず、命を大切にして生活します。

南部中学校がより良い学校になるよう、一人ひとりがこれらの項目をしっかりと実践することをここに宣言します。